

2010年度 立教SFR大学院生研究 採択一覧

単位：千円

採択番号	申請番号	組織	研究科	課程	研究代表者	指導教授	課題名	申請金額
1	2	個人	文学	D 2	岡本 広毅	菊池 清明	中世イングランドにおけるナショナル・アイデンティティの研究－ロマンズと歴史－	200
2	3	個人	文学	D 2	大西 寿明	新妻 明彦	第一次世界大戦以後のイギリス文学の考察：D.H.Lawrenceを中心に	200
3	4	個人	文学	D 1	小椋 道晃	舌津 智之	ハーマン・メルヴィルの文学作品と十九世紀アメリカ文化との接点を読み解く	200
4	6	個人	文学	D 1	安田 千恵美	荒野 泰典	近世女子用往来における付載記事の研究	181
5	9	個人	文学	D 2	後藤 隆基	藤井 淑禎	明治30年代演劇史の研究－舞台というテキストに見る近代歌舞伎の変容－	200
6	10	個人	文学	D 2	ビュールク・トローヴェ	加藤 定彦	二世市川團十郎の日記抄をめぐる江戸中期の嗜好品文化と演出	200
7	11	個人	文学	D 1	栗田 卓	石川 巧	松本清張と1960年代の「文学」編成意識に関する研究	200
8	12	個人	文学	D 1	塩川 和広	小峯 和明	「お伽草子・異類物における擬人化の手法とパロディ構造～『かくれさと』を中心に」	200
9	14	個人	文学	D 1	高松 亮太	加藤 定彦	上田秋成文芸と秋成を中心とした和学者の研究	200
10	15	個人	文学	D 1	糸 汐里	小峯 和明	説経『小栗判官』の研究－藤沢における受容と展開－	200
11	17	個人	文学	M 3	三宅 由佳	小峯 和明	中世文学にみる音楽－『文机談』を主軸に－	200
12	19	個人	文学	D 3	山本 康弘	佐藤 研	パウロ神学の根本思想に関する研究－律法と信仰とその関係について－	200
13	20	個人	文学	D 4	中村 澄子	前田 良三	亡命文学・難民文学におけるクラウス・マン－反ナチス活動と作品分析を中心に	200
14	22	個人	文学	D 1	黒木 秀房	澤田 直	ドゥルーズの哲学と文学の読解－ブルースト論を中心に－	200
15	23	個人	文学	D 2	山田 鋭生	北澤 毅	学校の授業場面における他者理解と教授実践の相互行為形式の研究	200
16	24	個人	文学	M 1	森川 はるか	栗田 和明	ラトヴィアの民俗文化・現代社会における歌・合唱	200
17	26	個人	経済	D 5	恩田 睦	老川 慶喜	両大戦間期における秩父鉄道の経営展開と地方産業	200
18	27	個人	経済	D 4	中村 慎一郎	老川 慶喜	昭和戦前期における卸売商の事業展開	200
19	28	個人	経済	D 4	西谷 直樹	老川 慶喜	戦時期工業都市の蔬菜流通体制の構築－茨城県日立市の事例	200
20	30	個人	社会	D 5	齋藤 雅哉	桜井 厚	家族の個人化と養育の社会化の社会学－ダウン症の子どもがいる家族を事例として－	200
21	31	個人	社会	D 4	野尻 洋平	成田 康昭	D.ライアの社会理論－「監視の両義性」テーゼにかんする理論的考察	200
22	32	個人	社会	D 2	前川 志津	黄 盛彬	戦後和解プロセスとアイデンティティ問題－元米国人捕虜問題を通じて－	200
23	33	個人	社会	D 2	加藤 倫子	桜井 厚	地域社会における/による「子ども社会化」－保護司の更生保護活動をつうじて－	200
24	39	個人	社会	M 2	根元 慎太郎	阿部 珠理	北米先住民社会における部族大学の役割－シンテグレシユカ大学の事例から分析－	200
25	40	個人	法	D 6	安藤 裕介	川崎 修	思想史研究における「政治経済学」という視角の可能性	200
26	41	個人	法	D 5	韓 都律	舟田 正之	優越的地位の濫用規制に関する諸考察	200
27	43	個人	観光	D 5	鄭 玉姫	松村 公明	韓国南海沿岸部における民泊地域の形成とその意義	200
28	44	個人	観光	D 3	内田 彩	安島 博幸	近世後期の温泉地に関する情報－旅行者に与えた影響について－	200
29	45	個人	コミ福	D 4	岡田 哲郎	森本 佳樹	岡村重夫の「民俗としての福祉」概念の検討	200
30	47	個人	コミ福	D 2	ケリ・イメルダ	服部 万理子	フィリピン介護教育の推進のために	200
31	49	個人	コミ福	D 1	富川 亜紀子	森本 佳樹	生活の支え合い(ソーシャルサポートネットワーク)の実証的研究	200

2010年度 立教SFR大学院生研究 採択一覧

単位：千円

採択番号	申請番号	組織	研究科	課程	研究代表者	指導教授	課題名	申請金額
32	52	個人	現代心理	D 2	岸 竜馬	塚本 伸一	弁証法的行動療法による人格障害圏患者の治療効果測定	200
33	53	個人	現代心理	M 2	岩山 孝幸	鍋田 恭孝	認知的対処方略と抑うつとの連続性に関して～認知的柔軟性に着目して～	200
34	56	個人	現代心理	D 3	太田 研	大石 幸二	発達障害児者のセルフ・モニタリングの反応効果に関する実験的分析	200
35	59	個人	現代心理	D 1	井手 正和	長田 佳久	ラバーハンドの自己同一化によって生じる触知覚の再配置に関する検討	200
36	61	個人	ビジネスデザイン	D 2	米岡 英治	青淵 正幸	情報端末製品の開発戦略における経営資源配分	200
37	62	個人	ビジネスデザイン	D 2	中川 衛	並木 伸晃	企業の立地選択と立地環境の関係について～企業を組織する人の視点から～	200
38	63	個人	ビジネスデザイン	D 2	山本 俊文	廣江 彰	ICT(情報通信技術)がもたらす製品アーキテクチャの変化と産業へのインパクト	200
39	64	個人	ビジネスデザイン	D 1	姜 春花	亀川 雅人	職務発明による知的財産の価値評価	200
40	65	個人	ビジネスデザイン	M 2	横山 禎	築瀬 允紀	日系医療機器メーカーの高齢化社会における顧客創造とブランド構築	200
41	66	個人	21世紀社会デザイン	D 4	原田 麻里子	萩原 なつ子	留学生の定住化と地域社会との関係性に関する研究(考察)～受入れ地域コミュニティの視点から～	200
42	67	個人	21世紀社会デザイン	D 4	森田 系太郎	萩原 なつ子	日本の環境NGOスタッフのエコロジカル・アイデンティティ研究	200
43	69	個人	21世紀社会デザイン	D 2	嘉瀬井 恵子	萩原 なつ子	「合議民主主義を問い直す」千葉県・三番瀬の自然再生を事例として	200
44	72	個人	21世紀社会デザイン	D 1	佐野 敦子	長 有紀枝	メクレンブルク＝フォアポメルン州の成人教育～国家・地域・教育との協業～	200
45	73	個人	21世紀社会デザイン	D 1	小関 孝子	笠原 清志	「全国友の会」研究～生活合理化による社会デザインのゆくえ～	200
46	74	個人	21世紀社会デザイン	D 1	眞田 尚剛	川村 仁弘	戦後日本の政軍関係～政治・国民・自衛隊を中心に	200
47	81	個人	異文化	D 5	齊藤 美野	鳥飼 玖美子	森田思軒の翻訳観：文学翻訳にまつわる異質性に焦点を当てて	200
48	82	個人	異文化	D 4	久保田 佳枝	灘光 洋子	企業文化適応過程における異文化要因とストレスの関係性～日米間クロスボーダーM&A	200
49	83	個人	異文化	D 1	池田 恭子	野田 研一	海洋教育における伝統知と現代技術の融合の可能性～ハワイ・日本間の教育交流を例に	200
50	84	個人	キリスト教	D 2	石川 智子	久保田 浩	ドイツ連邦共和国の公教育における諸宗教の位置づけ	200
51	86	共同	理	D 2	藤原 崇幸	望月 祐志	経路積分法による核の量子効果を含めた水クラスターの理論研究	500
52	87	個人	理	M 2	元吉 沙也加	常盤 広明	次世代のコンピュータ支援分子設計・結合カイネティクス融合型創薬システムの開発	500
53	92	共同	理	M 2	吉田 正樹	北本 俊二	銀河系内X線点源のX線放射機構の研究：観測と装置開発両面からのアプローチ	500
54	96	共同	理	D 1	二宮 一史	村田 次郎	高精度画像処理型変位計を用いた近距離重力実験	500
55	99	個人	理	M 2	井元 祐太	黒岩 常祥	核、ミトコンドリア及び葉緑体の分裂周期を基盤とした細胞増殖のゲノム科学的解明	500

合計 55名(D:47、M:8)